

ごみと資源物の処理の流れ、かかるお金

ごみ処理にかか るお金

年間 20億1千万円

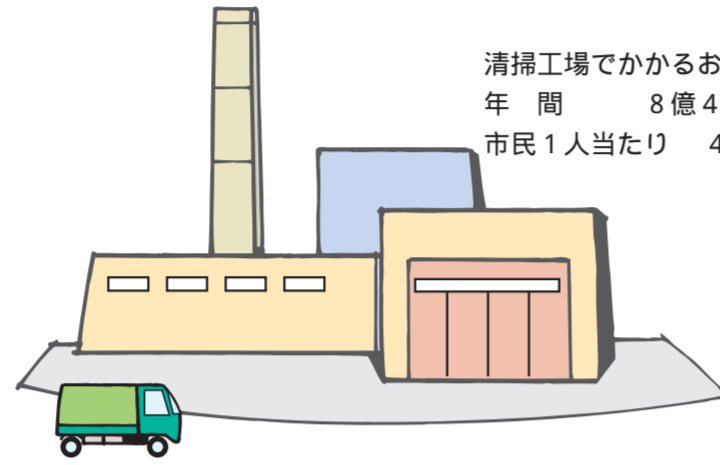


市民1人当たり
年間 11,214円
かかっています



ごみ収集にかか
るお金は...
年間 7億9千万円
市民1人当たり 4,407円

小平・村山・大和衛生組合



清掃工場にかか
るお金は...
年間 8億4千万円
市民1人当たり 4,683円

小平・村山・大和衛生組合では、燃えるごみの焼却、燃えないごみ・粗大ごみの破砕・選別などを行っています。資源となる鉄やアルミなどはできるだけ取り除き、埋め立てられるごみを減量しています。

埋め立てにかか
るお金は...
年間 3億8千万円
市民1人当たり 2,124円

二ツ塚廃棄物広域処分場



エコセメント施設(完成予定図)

小平・村山・大和衛生組合で焼却処理された灰と破砕不燃物は、日の出町の二ツ塚廃棄物広域処分場に埋め立てられています。

しかし、現在すでに4割近くが埋め立てられ、このままでは、あと10年程で埋立地がいっぱいになってしまいます。

そこで、焼却された灰を原料としてエコセメントを製造する「エコセメント事業」に取り組み、この春には施設が稼働する予定です。焼却灰を資源として活用することで、ごみの埋め立て量を減らし、処分場を少しでも長く使うことができますようになります。

リサイクルを
心がけています

資源物の処理にかか るお金

年間 5億3千万円



市民1人当たり
年間 2,947円
かかっています



資源物の収集にかか
るお金は...
年間 3億6千万円
市民1人当たり 1,993円

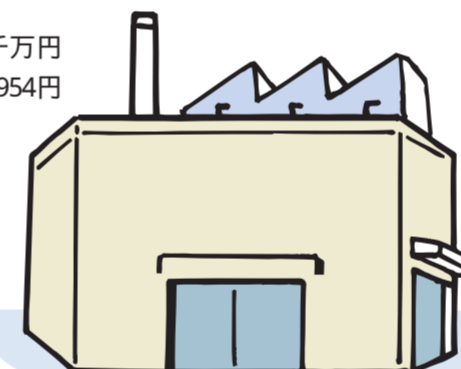
リサイクルセンターなど



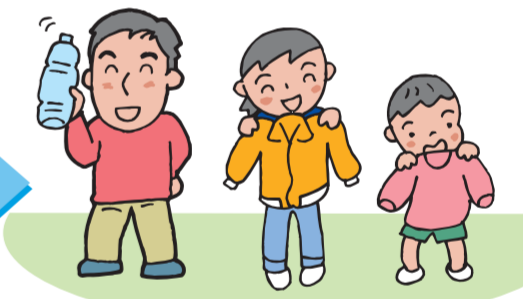
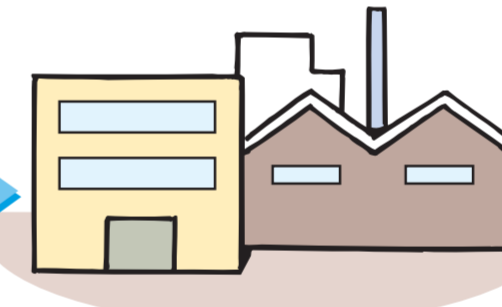
リサイクルセンターなどの施設では、機械や人の手で資源物の選別を行い、一時保管後、再商品化するための原料を作る工場に引き渡しています。

再商品化するための原料を作る工場(再資源化)

資源物の選別作業・再資源化
などにかか
るお金は...
年間 1億7千万円
市民1人当たり 954円



製造工場(メーカーなど)で商品化される



商品となって、また皆さんのお宅に

ひとりで
できること...

生ごみ処理機器は こんなに便利です



生ごみ処理機の肥料でこんなにきれいな花が咲きました



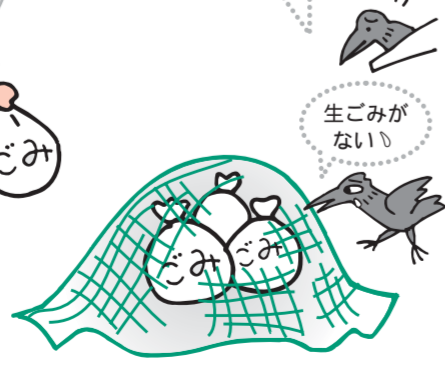
ごみが少なくなったよ

とても軽いよ



食べるものがないよ~

生ごみがない



生ごみ処理機器を購入すると、購入額の2分の1の補助(上限3万円)が受けられます。詳しくはごみ減量対策課までお問い合わせください。

みんなで
できること...

資源の集団回収を 始めてみませんか

地域などのグループで集めた資源物(ビン・カン・新聞紙・雑誌・段ボールなど)で、活動資金を作ってみませんか? 詳しくはごみ減量対策課までお問い合わせください。



みんなで集めて



補助金をもらって



活動資金として利用

レジ袋は
もういらない...

買い物は マイバッグで

いりません
きょうから私は
マイバッグ

